

令和4年度門真市立公民館及び門真市立門真市民プラザ 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和3年度

施設のサービス水準の視点コメント

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、定数制限や消毒、マスク着用等安全性の確保の上、できる限り講座を開催し、市民の活動を支援することができたことが伺える。体育館・グラウンドの受付業務を地域スポーツクラブに委託し利用者目線での運営に取り組んだり、かどま市民大学の講座の一環で体育館の談話室の壁をアートで彩る等明るい空間づくりに努めたりする等、創意工夫されていることを評価する。

収支状況 コメント

収入においては、緊急事態宣言の発令による臨時休館やまん延防止等重点措置による時短営業等が影響し、施設利用料金等の実績額が予算額より大きく下回ってしまったが、新型コロナウイルス感染拡大防止策支援金の交付により昨年度とほぼ同水準となっている。また、支出においては、概ね予算額どおり執行されていることが伺えるが、業務委託費や光熱水費の実績額が予算額より超過しており、契約内容等の見直しが必要だと思われる。

感染症対策 コメント

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントや活動等が制限される中、利用者等が継続して活動続けられるよう、例えば、生涯学習フェスティバルを開催しない代わりに各サークル等の活動を紹介するパンフレットを制作し配付する等最大限できることを検討されていたことを評価する。

市による総合評価 コメント

緊急事態宣言による臨時休館期間中に、門真市民プラザにおける事務所の統一化、施設内の電灯をLED化等効率よく実施することができたことを評価する。

また、ルミエールホールと提携しながら、かどま大学を実施することで市民の生涯学習の促進に努めたことを評価する。

門真市民プラザ南側の資材置き場での火災発生時に利用者への速やかな避難指示及び誘導並びに施設運営の正常化を図るなど、安全確保に努めたことを評価する。

一方、一部の指定事業を行うにあたり関係者との連絡調整の不備により市の介入が必要な事態に展開したり、事業報告書等の提出期限超過により適切に各施設の運営管理が行われているかどうか把握し難い状況があった。また、市民プラザにおける市民対応においても、指定管理施設職員による市民への不適切な対応について利用者より報告があった。今後、これらを改善することを求める。

総合評価

C

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった